

駿河台大学同窓会報

第11号

発行
駿河台大学同窓会
事務局

〒357-8555
埼玉県飯能市阿須698
☎(042)972-1101

ホームページ
<http://www.sunugadai.ac.jp/~dousou/index.html>

懐かしい顔ぶれが集いました

平成18年度

同窓会総会実施報告

池袋にて開催

去る5月13日(土)、平成18年度同窓会総会が、サンシャインシティプリンスホテル(豊島区東池袋)にて開催されました。

小雨の降る中、同窓会会員の皆さんをはじめ、大学からは学長と教職員の方々にお集まりいただき、和やかな会となりました。

前半の同窓会総会は、2階飛魚の間で行われ、副会長の廣瀬尚氏(平成5年法学部卒)の司会のもと、15時から約1時間開催されました。開会に先立ち、竹下守夫学長よりご挨拶をいただき、続いて富岡勇哉同窓会長(平成4年法学部卒)よりご挨拶をいただきました。



▲懇親パーティーの様子

総会議事に入る前に、議長の選出が行われ、今期会長として現会長の富岡勇哉氏の留任が承認され、議長として議事進行をお願いしました。まず初めに、各役員より平成17年度事業報告・収支決算報告・監査報告、続いて、平成18年度事業計画及び予算案についての審議がなされました(2面参照)。会員の皆さんから、議案について例年になくたくさんのご意見やご質問をいただき、活発な議論がなされましたが、全ての議案について承認されました。最後に、平成18年度の役員を紹介させていただき、閉会となりました。



▲アカペラサークル「acp」の学生たち

総会終了後の16時より、隣の琴・乙女の間にて懇親パーティーが開催され、会員及び教職員を含め約100名の方にご出席いただきました。副会長の森沢克啓氏(平成9年法学部卒)の乾杯のご発声で始まり、懇親会の途中、現役学生のアカペラサークル「acp(エイシービー)」から選ばされた12名が駆けつけ、日頃の練習成果を披露させていただきました。学生たちの爽やかな歌声に、会

場が一体となり、拍手を送りました。また、恒例となりましたビデオ上映もあり、学生時代を過ごした懐かしいキャンパスの映像に、会員の皆さんと恩師の思い出話も一層盛り上がりしました。最後に、一期生の白石直哉氏(平成3年法学部卒)の音頭で、校歌斉唱をしてお開きとなりました。

(同窓会事務局)

竹下守夫学長からのご挨拶



平成18年度の駿河台大学同窓会総会がこのように盛況に行われることを、嬉しく思います。

まず、大学の近況ですが、今年4月から卒業生の市川紀子さん(平成7年法学部卒)が経済学部教員として着任され、同じく卒業生の山崎善久さん(平成3年法学部卒)が事務局長に就任されましたので、心より歓迎致します。

また、フロンティアアタワーズ(学生寮)が完成し、3月4日に竣工式が盛大に行われました。大学の学生寮は、単に学生諸君に生活の場を提供するだけではなく、教室を離れた場所でも、互いに切磋琢磨する教育施設の一つです。それだけ、駿河台大学が高等教育機関として充実したということになります。

3月25日の卒業式には、登山家の田部井淳子氏を来賓としてお迎えし、その時のお話に非常に感銘を受けました。皆さんも、一つのことを成し遂げようと思ったときには、どんな障害があっても、最終的な目標に到達する強い意志を持って望んでいただきたいと思えます。

最後に、昨年と同様、会員の皆さんに「認証評価制度」への協力をお願いし、卒業生の皆さんのご健勝と同窓会の発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

富岡勇哉同窓会長からのご挨拶



本日は雨の中、同窓会総会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

昨年度完成しました「同窓会会員名簿」につきましては、既にご案内の通り残念な結果になってしまいましたが、今後も同窓会事業及び大学の発展に寄与できるよう、同窓会役員総員で事業展開にてご入れをしていく所存でございます。

先ほど、竹下先生のお話の中で、田部井淳子さんのお話を伺って、私が小学校4年生の時のことを思い出しました。当時の担任の先生から、「中途半端はゼロに等しい」と言われ、今でもそれを人生座右の銘の一つにしております。今、ここで名簿の結果がだめだった、あるいは、毎回マンネリなのではないか、というご指摘等もございしますが、ここで同窓会事業を辞めてしまつては、大学の発展にも寄与できないし、我々同窓会メンバーの存在意義もなくなつてしまいます。同窓会、そして大学の発展のためにも、本日も出席いただいた方々をはじめ、会員の皆さまのご協力が大変重要になってまいります。今後も引き続きご協力の程、よろしく願ひ致します。

大変短いですが、これで私の挨拶を終わらせていただきます。ありがとうございます。

お知らせ

今年も、駿輝祭開催に併せてホームカミングデーを開催します。当日は、永島昭浩氏によるトークショーや懇親会も予定しております。皆さんのご来場をお待ちしております(4面に続く)。

平成17年度同窓会収支決算報告書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

駿河台大学同窓会

平成18年度収支予算

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部) (増減△は超過を示す。単位：円)

勘定科目	17年度予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	187,832,030	187,832,030	0	
会費	24,000,000	23,700,000	300,000	平成17年度納入分
総会懇親会費	0	105,000	△105,000	総会懇親会参加費 (3,000円×35名分)
受取利息	100,000	204,216	△104,216	定期預金利息204,039円、 普通預金利息177円
名簿収入	3,500,000	1,023,000	2,477,000	5,500円×186冊 (予算時見込み636冊)
収入の部合計	215,432,030	212,864,246	2,567,784	

(収入の部) (増減△は減を示す。単位：円)

勘定科目	18年度予算額	17年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	204,287,228	187,832,030	16,455,198	
会費	22,800,000	24,000,000	△1,200,000	
受取利息	100,000	100,000	0	
名簿収入	0	3,500,000	△3,500,000	
収入の部合計	227,187,228	215,432,030	11,755,198	

(支出の部) (増減△は超過を示す。単位：円)

勘定科目	17年度予算額	決算額	増減	備考
事業費	10,300,000	6,616,982	3,683,018	
同窓会会報作成費	900,000	460,110	439,890	会報0-9号分、HP用PDF作成費等
大学への卒業寄付	1,000,000	946,848	53,152	平成17年度卒業生分
ホームカミングデー実施費	1,500,000	1,436,420	63,580	
同窓会総会実施費	1,500,000	1,138,104	361,896	
地方支部会実施費	500,000	0	500,000	
同窓会奨学金	2,000,000	0	2,000,000	平成17年度該当者0名
ホームページ管理費	400,000	378,000	22,000	
同窓会名簿作成費	2,500,000	2,257,500	242,500	
運営事務費	2,450,000	1,960,036	489,964	
郵送料	2,000,000	1,797,065	202,935	同窓会報郵送費等
印刷費	250,000	110,617	139,383	総会出欠葉書作成費、卒業生住所届葉書作成費
雑費	200,000	52,354	147,646	振込手数料
予備費	5,000,000	0	5,000,000	
小計(当年度分計)	17,750,000	8,577,018	9,172,982	
次年度繰越金	197,682,030	204,287,228	△6,605,198	
支出の部合計	215,432,030	212,864,246	2,567,784	

(支出の部) (増減△は減を示す。単位：円)

勘定科目	18年度予算額	17年度予算額	増減	備考
事業費	7,800,000	10,300,000	△2,500,000	
同窓会会報作成費	900,000	900,000	0	年2回発行(450,000円×2)
大学への卒業寄付	1,000,000	1,000,000	0	平成18年度卒業生分
ホームカミングデー実施費	1,500,000	1,500,000	0	講演会経費等
同窓会総会実施費	1,500,000	1,500,000	0	
地方支部会実施費	500,000	500,000	0	
同窓会奨学金	2,000,000	2,000,000	0	
ホームページ管理費	400,000	400,000	0	
同窓会名簿作成費	0	2,500,000	△2,500,000	名簿完成済みのため、予算計上なし
運営事務費	3,450,000	2,450,000	1,000,000	
郵送料	3,000,000	2,000,000	1,000,000	会報等2回発送(1,500,000円×2回) ※郵便に変更予定
印刷費	250,000	250,000	0	封筒・住所届出葉書等の印刷
雑費	200,000	200,000	0	振込手数料、役員交通費等
予備費	5,000,000	5,000,000	0	
小計	16,250,000	17,750,000	△1,500,000	
翌年度繰越金	210,937,228	197,682,030	13,255,198	
支出の部合計	227,187,228	215,432,030	11,755,198	

平成18年度 駿河台大学同窓会 活動項目

1・同窓会報の発行

同窓会報を4月及び10月に作成し、会員全員に配布します。同時に同窓会総会やホームカミングデー等の案内も送付いたします。

2・大学への卒業寄付

式典用として楽器等を購入し、大学への寄付を予定しています。

3・同窓会総会の開催

同窓会総会及び懇親会を5月13日(土)にサンシャインシティプリンスホテルにて開催します。会員の他、駿河台大学教職員を招待します。

4・ホームカミングデーの実施

駿輝祭開催時に会員及び駿河台大学教職員を招いて懇親会を実施します。併せて著名人を招いての講演会も予定しています。

5・支部会の援助

支部会組織を立ち上げよとする場合、総会・役員会の通知発送等を援助します。ご希望の方は、同窓会事務局までご連絡ください。

6・同窓会奨学金の貸与

経済的困窮度が高く、大学の課程の終了が困難な学生に対し、奨学金を貸与します(60万円×3名)。

7・同窓会ホームページの管理

同窓会ホームページの充実を図ります。

以上

新役員紹介

岸本晋太郎氏

今年度より同窓会役員に就任された岸本晋太郎氏(平成13年現代化学学部卒)をご紹介します。

岸本さんは、現代化学部の一学期。クラスや学部内の人数が少なかつた分、親密度の高い友人に恵まれ、充実した学生生活を過ごされたそうです。

学生時代はテコンドーに打ち込む一方、練馬区社会福祉協議会に所属し、数々のボランティアに参加。その経験を活かし、卒業後は練馬区立大泉福祉作業所に入職、その後、青年海外協力隊にも参加し、ザンビア共和国に赴任。現在は貿易会社勤務。

岸本さんからのメッセージ



この度、同窓会役員を務めさせていただくことになりました岸本晋太郎と申します。母校のより一層の繁栄と、現代化学部出身の卒業生がより多く同窓会に参加してもらえるよう、尽力させていただきます。ご指導の程、よろしくお願い致します。

以上、5月13日(土)に開催された同窓会総会にて承認されました。

OB吹奏楽団結成！！

平成18年4月、待望のOB吹奏楽団が結成されました。代表を務めるのは、この春文化情報学部を卒業した加藤満氏(平成18年文化情報学部卒)。5年後には全国大会出場を目指し、練習を重ねています。構成メンバーのほとんどが社会人とあって、練習日や場所を確保するのが難しいようですが、現役時代のようにコンクール入賞を目指しがんばっています。



中学を卒業した頃から、自分の力で楽団を作りたいと思い続け、仲間と話し合いを重ねてきましたが、練習場所の確保が難しく、計画は先送りしてきました。そして、この春、自分自身も大学を卒業し、楽器を吹く場が無くなってしまいう事もあり、最後の手段と思い、大学に相談しまし

た。思いがけず、快く相談に乗ってもらえて、話はほとんどん拍子に進み、念願のOB吹奏楽団結成となりました。大学に感謝感謝です。

OB吹奏楽団でも、常に大きな目標を持ち、活動していきたいと考えています。現在の目標は“5年で全国大会出場”です。

学生時代は、音楽に関する全てに興味があったため、吹奏楽部に入学し、高い目標を持って活動した他、アカペラサークルの設立・運営にも力を入れました。大学3年のとき、一番の目標であったアンサンブルコンテストで全国大会出場を果たしました。全国大会の会場の雰囲気は、それまでと違い、ものすごい緊張感でした。結果は銀賞でしたが、新たな目標と沢山の事を得ました。

現在は駿河台大学OB吹奏楽団の活動をしながら、表現者としてもっと色々な角度から学びたいと感じ、役者としても活動をしています。

現在OB吹奏楽団は30名程度で活動していますが、まだまだ人数不足なので、関心のある方は是非入団してください。

練習日時：毎週日曜日 17：30～21：00

練習場所：駿河台大学 大会館3・4階

OB・OGも参加

障害者カヌー体験教室

7月22日(土)、8月10日(木)、8月26日(土)の3日間、大学構内のカヌー池及び入間川で、障害者カヌー教室が開催されました。この活動に、本学OB・OGも参加し、障害者の方との交流を深めました。



▲車イスのままゴムボートに乗る子どもをボランティアが介助

経済学部土方幹夫教授が指導されるカヌー教室は、平成7年より公開講座として始まり、翌年の平成8年からは障害者も交えた体験教室として今日まで活動を続けてきました。平成17年には、飯能市社会福祉協議会と共催で「彩の国ボランティア体験プログラム カヌーを楽しもう(カヌー体験教室)」を開催するように

なり、今年は財団法人河川環境管理財団「平成18年度河川整備基金助成金」を受けた活動に発展しました。

参加したのは、埼玉県日高養護学校の生徒さん、社会福祉法人むさしの会「阿須フレンドワーク」の利用者さん、社会福祉法人もくば会「八王子療護園」の方と、駿河台大学カヌー部員、同大学生ボランティア、飯能市

民ボランティア、教職員ら。各回とも、約60名の参加者が集まりました。

ほとんどの参加者は、カヌー初体験でしたが、水上では土方教授とカヌー部員が指導し、陸上では渡辺裕子助教授と学生・市民ボランティアが介助し、安全に、楽しくカヌーを体験することができました。



▲入間川でのカヌー体験教室の様子。対岸に見える建物は新学生寮(フロンティアタワー)。

OB・OG、教職員がバックアップ

参加した卒業生は、市川紀子氏(平成7年法学部卒/現経済学部講師)、田部井進也氏(平成15年文化情報学部卒)、中川順子氏(平成6年経済学部卒)、柳下一義氏(平成18年法学部卒)。そして、教員は南林さえ子経済学部長、町田欣弥学生部長、土方幹夫教授、池野秀弘教授、渡辺裕子助教授、職員は、雷光一学生課長、高塚美保子学生課長代理が参加。卒業生、教職員が一丸となって、この活動をバックアップしました。



市川 紀子 氏のコメント

大学在学中に土方幹夫先生のカヌーの授業を受講していて、その時初めてカヌーに乗りました。また、渡辺裕子先生が顧問をなさっておられるボランティア情報室の活動にも強く関心があり、今回のボランティアに参加しました。

障害者の皆さんが、カヌーに乗る前、また乗っている最中も、全体で喜びを表しているのが非常に印象的でした。今回参加した学生も熱心に活動に打ち込み、一緒になって笑顔を見せていました。

(平成7年 法学部卒)



田部井 進也 氏のコメント

現在、障害者と健常者が共に楽しめるコミュニティサイト(IVY)を運営しています。今回は、初級障害者スポーツ指導員の資格を活かし、土方先生の手伝いができればと思います。参加しました。

障害、特に車椅子の方々にとって、水の上にいるという感覚がとても新鮮だったようで、参加した方々の笑顔が最高でした！！

参加した駿河台大学の学生も、自分達のできる範囲の中でよく動いていたと思います。障害者の方と、スポーツやレクリエーションを通じて、色々と学べたのではないのでしょうか。(平成15年文化情報学部卒)

10月28日(土)

ホームカミングデー開催のお知らせ

今年も、駿輝祭開催に併せて、10月28日(土)にホームカミングデーを開催します。ホームカミングデーは、卒業生の皆さんが気軽に母校を訪れ、学部・学科・学年を越えて親睦を深めていただける場として、同窓会が企画しております。そして、懐かしいキャンパスで、恩師や教職員とも交流していただける機会です。

今年で5回目を迎えるホームカミングデーですが、例年、お友達やご家族連れでご参加いただき、楽しいひと時を過ごしていただいております。現在の大学の様子をご覧いただき、駿河台大学同窓会の活性化とさらなる発展に寄与できればと考えておりますので、おひとりでも多くの会員の方のご参加をお待ちしております。

恒例となりました同窓会・父母会共催のトークショーでは、フジテレビ『スーパーニュース』のスポーツキャスターとしておなじみの**サッカー解説者 永島昭浩氏**の講演会を行う予定です。その後、会員の皆さんをお招きして懇親会を行いますので、皆さんお誘い合わせの上、お越しください。



◆ホームカミングデートークショー

永島昭浩氏によるトークショー『永島流サッカー観戦の楽しみ方』を開催します。
 時間：13:00～
 場所：第二講義棟4階 7405教室
 会費：無料

◆ホームカミングデー懇親会

時間：15:00～16:30
 場所：第二講義棟15階
 レセプションルーム
 会費：無料

※当日は、飯能・元加治・金子駅から無料スクールバスが循環運行しておりますのでご利用ください。お車でご来場の場合、駐車台数に限りがあり、大学近辺の駐車場をご案内する場合がありますので、予めご了承ください。

▶「経済経営学科」紹介パンフレット



経済経営学科の7つの主専攻コース

コース	キーワード
環境と社会	環境問題の理解と解決のために
福祉と共生	少子高齢化する社会のシステムを考える
地域と国際	21世紀は地域から世界を見る
経済と政策	不況・就職難の原因を探る
金融と会計	お金を動かすためのノウハウを学ぶ
マーケティングとマネジメント	組織の中の人間行動 売れ筋商品の生産販売戦略を学ぶ
情報とシステム	新しい時代の企業経営に情報技術を活用する

21世紀の世界は、環境破壊、少子高齢化、テロや戦争の頻発など今までに経験したことのない多くの問題に直面しています。経済経営学科では、経済学・経営学の理論を現実社会のこれらの問題に対する解決手段として有効に活用できる能力を育成しようと考えています。

新学科で何を学ぶか

駿河台大学経済学部は、平成19年4月より従来の2学科を廃止し、経済・経営・情報を総合的に学ぶことのできる経済経営学科を新設します。21世紀の複雑化した経済社会では、経済と経営が密接に結びつくようになったため、経済学や経営学といった学問の体系に沿った縦割りの学科ではなく、学ぶ者の立場に立ち総合的に学ぶことができる学科が求められています。

学ぶ者の視点に立った教育

法学部に次ぐ2番目の学部として平成2年に新設された経済学部ですが、開設18年目を迎える来年4月から経済学部経済経営学科として新しく生まれ変わります。

2007年4月 経済学部 時代に立ち向かう力を養う 経済経営学科 新設

◆平成19年4月より◆「届出手続中」

経済経営学科の目指す4つの力の育成

- **社会を生き抜く力**
 今までにない変化の激しい現代社会に対応できる人材の育成を目指します。
- **キャリアを決める力**
 大学卒業後の職業観・社会観を養うことを目指して、大学外部から多くの企業人講師を招聘した授業を組んでいます。
- **自らを表現する力**
 1年生から4年生まで、ゼミナールなどの少人数教育を通じて学生と教員の双方方向の教育を目指します。
- **ITを使いこなす力**
 情報技術は「操作できる」だけでなく「活用できる」ことが重要です。新学科では、今以上に情報教育の充実を目指します。

7つの主専攻コース

経済経営学科は、これまでの経済学科、経営情報学科に設置されていた6コースから、「環境」と「福祉」を独立、充実させて、7つのコースを設けました。